

● 事業名

岸和田市・和歌山大学の連携事業

～地域と歩む学びの場として～

● 1. 岸和田サテライトの概要

和歌山大学岸和田サテライトは、2003年に締結された「和歌山大学・岸和田市地域連携推進協定」に基づき、2006年に岸和田市立浪切ホール（現：南海浪切ホール）に開設された。

岸和田サテライトの4つの事業の柱は、①地域住民の多様な専門教育ニーズを満たすための高等教育（大学院・学部解放授業）の実施、②地域研究や地域課題を踏まえた生涯学習の機会提供（わだい浪切サロン等）、③大学資源の活用によって地域課題を解決するための地域研究・連携事業、④入学試験や教員免許状更新を含めた地域に対する大学情報の発信である。



南海浪切ホールの2Fに岸和田サテライトを設置

● 2. 2020年度の実施内容

(1) 高等教育事業

① 大学院経済学科研究科授業

コロナ禍の影響により前期・後期ともにオンライン授業に切り替えて実施した。

前期 科目名	担当教員	受講者数		
		院生	科目等履修生	合計
法人税法特殊問題	片山直子	4	0	4
会社法特殊問題	清弘正子	1	0	1
産業地域論	藤田和史、岸上光克	7	2	9
	合計	12	2	14

後期 科目名	担当教員	受講者数		
		院生	科目等履修生	合計
管理会計論特殊問題	藤原靖也	2	0	2
租税法実務特殊問題	近畿税理士会	3	1	4
財政学特殊問題	齊藤 仁	1	0	1
	合計	6	1	7

② 学部開放授業

緊急事態宣言の発出による南海浪切ホールの閉鎖（4月8日～5月31日）に伴い、前期の対面授業は中止し、後期はオンライン授業に切り替えて実施した。

後期 科目名	担当教員	受講者数		
		学部生	社会人	合計
<地域課題探求型授業> 子ども・子育て家庭と現代社会	村田和子、金川めぐみ、衣斐哲臣、 二宮衆一、ゲスト講師	9	5	14
<文化・教養型授業> 豪雨災害とその備え	此松昌彦、田内裕人、ゲスト講師	8	8	16
	合計	17	13	30

受講者アンケートでは、「自分の子育てに役立つつもりで受講したが、予想以上に学ぶことが多かった」、「幅広い年代、様々な立場の受講生と交流でき、大学生らしい学びができた」、「関心のある防災がテーマの授業だったので、楽しく学ぶことができた」、「今回の受講を機に防災に対する取り組みや考え方を、住民としてもっと積極的に活かしていきたい」などの意見が寄せられた。

オンライン授業に関する設問に対しては、感染予防や移動負担の軽減、動画教材による事前事後学習のメリットが挙げられる一方で、長時間の視聴疲労や対面授業に比較した交流機会の減少といった声があった。

授業の募集期間中には、岸和田市立図書館との連動企画により、開講科目に関連した参考文献や関連情報についてのユニークな企画展示を、相互のホームページ上で紹介しあう取り組みを継続した。



岸和田市立図書館の展示コーナー

(2) わだい浪切サロン (2月・8月を除く毎月第三水曜日に開催)

市民のみなさんに、和歌山大学教員等の研究テーマや時事的トピックスを身近に提供する機会として2008年度より開催している。2020年度はコロナ禍の影響により一時休止し、10月以降はオンライン開催の形で再開した。

回数	月	テーマ	話題提供者	参加者数
120	10月	令和時代のまちづくり戦略 - 5年で空き店舗がゼロになった商店街 -	足立基浩	45
121	11月	2020年アメリカ大統領選挙とその歴史的背景	藤木剛康	45
122	12月	ドキュメンタリー「Yokosuka1953」の制作背景 - 地域の物語の紡ぎ方 -	木川剛志	33
123	1月	特産品のブランドデザイン	北村元成	37
124	3月	身近な獣医学 - 病（やまい）から知る生命の神秘 -	山手丈至 (大阪府立大学生命環境科学 研究科教授・副学長)	30
合計				190

参加者アンケートでは、「まちづくりの魅力を知ることができた」、「今後の地域の活性化のヒントが得られた」、「ニュースだけではわからないアメリカの歴史から現在の政治の様相が理解できた」、「本などで読むよりも研究者の生の声で聴けるのが誠に良い」、「お話と映像に引き込まれたあっという間の1時間半であった」、「地域ブランドを通して、街づくりや地域の隠れた名所についての視野を広げさせて頂いた」等の意見が寄せられた。

第124回は、2017年に締結した包括連携協定に基づき、大阪府立大学の山手教授・副学長による講演を実施した。参加者からは、新型コロナウイルスにも関係のある人獣共通感染症について多くの関心や質問が寄せられ、アンケートでは「病理の知識がなくても興味深い内容で楽しく参加できた」、「質疑応答では、双方向のコミュニケーションができて非常に満足した」等の声寄せられた。

● 3. 今後の課題

岸和田サテライトには、2007年発足の岸和田サテライト友の会（会員数約100名）があり、サテライト事業の発展に寄与している。岸和田市内においては「地元が一番近い国立大学」として和歌山大学に対する期待感が大きい。

2020年度はコロナ禍の影響により、授業や地域連携事業の実施について試行錯誤の1年であったが、2021年度は岸和田市との連携を更に深めることにより、社会状況の変化に応じた新たな手法による学びの提供や、地域の問題解決に資するリーダー人材の育成に継続的に取り組むことを目標としている。

事業に関するお問い合わせ

岸和田サテライト

E-mail : kishiwadastaff@ml.wakayama-u.ac.jp
URL : <https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/kishiwada/>

